

議会だより



これからの 美郷町を担う22議員

主な内容

- P 2 ~ 3 美郷町議会スタート.....初議会
- P 4 ~ 5 全員賛成で認定.....9月定例会概要
- P 6 ~ 8 補正予算に質疑集中.....補正・単行議案
- P 9 ~ 11 一般質問 Q&A.....5人による質疑



議会での選挙

伊藤議長のもと 美郷町議会スタート



伊藤福章 議長



高橋 猛 副議長

この度、議員各位のご理解とご協力を得まして、議長に就任させていただきました。

光栄、身に余るものがあります。また、その責任の重大さを考えました時には身の引き締まる思いでもあります。

美郷町になって早一年、真の町づくりはこれからであります。九月定例会では、美郷町の将来像を示した基本構想を議決したところでもあり、これを絵に描いた

ですが、先般行われた初議会において、不肖私が副議長の任を担うことになり、責務の重大さを感じているところでありませぬ。

国家財政が逼迫し、地方の財源が大幅にカットされる状況の中で今回の平成の大合併なわけですが、他では合併問題で大きく揺らいでいる中、美郷町は極めて

モチに終わらせることなく、議会といたしましては美郷町の将来の均衡ある発展と将来を託すことのできる町づくりを目指し、十月に誕生しました新議員二十二人が一丸となって取り組んでまいれる所存であります。

今後とも一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げ、て順調なスタートをしております。しかしながら前年度の決算状況を見ても、特殊な事情があるようですが、経常収支比率が95・5%（大仙市98・6%）と異常な状況にあり、この合併特例期間中に、いかにしっかりとした財政基盤を築くことができるかが重要な課題であると考えます。

10月5日、初議会が招集され、投票の結果、議長に伊藤福章議員（60）、副議長に高橋猛議員（52）が選出されました。また、各常任委員会の委員が選任され、広域市町村圏組合など一部事務組合への代表議員や、議会選出の監査委員が決定しました。

就任のごあいさつといたします。

議会も旧町村の垣根を取り払いながら、さらに視点を広げ、議論を深めて美郷町を順調な軌道に乗せることが肝要なことかと思ひます。

何分浅学非才な者であります。職務を全うすべく努力する所存でありますので、ご教示下さいますようお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。

10月5日、初議会が招集され、投票の結果、議長に伊藤福章議員（60）、副議長に高橋猛議員（52）が選出されました。また、各常任委員会の委員が選任され、広域市町村圏組合など一部事務組合への代表議員や、議会選出の監査委員が決定しました。

総務 常任委員会



吉野 久議員 (議会広報委員長) 武藤 威議員 (議会運営副委員長)
杉澤隆一議員 (議会広報副委員長) 中村美智男議員
戸澤 勉議員 (議会運営委員長) 滋谷俊二委員長
鈴木 一副委員長 伊藤福章議長

教育民生 常任委員会



鈴木良勝議員 (議会広報) 中村利昭議員
戸沢藤一議員 (議会運営)
熊谷良夫議員 福田守副委員長
熊谷隆一委員長 (議会広報) 泉美和子議員 (議会運営)

産業建設 常任委員会



森元淑雄議員 (議会広報) 飛澤龍右工門議員
深沢義一議員 (議会運営・広報)
泉 繁夫議員 高橋正治副委員長
齊藤新一郎委員長 高橋猛副議長 (議会運営)

初議会招集

9月18日投票開票され、当選した22名の議員による初議会が、10月5日招集されました。本会議では、議長と副議長を選挙で選出し、議席の指定や各常任委員会の委員選任などを行って、美郷町議会が適法に活動できるよう、議会構成を決めました。

議長選挙は、最年長者の齊藤新一郎副議長のもとに行われました。

単記無記名投票の結果、伊藤議員15票、熊谷(良)議員5票、泉(美)議員2票となり、伊藤福章議員が議長に選出されました。

副議長選挙は、高橋(猛)議員14票、福田議員6票、武藤議員2票となり、高橋猛議員が副議長に選出されました。

議長・副議長の任期は4年、各常任委員会の所属任期は2年で、いよいよ町民の負託を受けた新議員による美郷町議会がスタートしました。

《監査委員選任 での質疑》

熊谷(良)議員 臨時議会では、告示した議案以外は、追加で議案提出できない事になっている。なぜ、監査委員の選任案件を告示しなかったか。

町長 地方自治法102条第5項に、急施の場合に追加提案も可能との条文がある。監査委員の選任権限を有する首長として、議長や副議長とその人選が重ならないように急施をもって提案した。

【議会選出・監査委員】

泉 繁夫

【大曲仙北広域市町村圏組合議会議員】

伊藤福章・武藤威

熊谷良夫・泉 繁夫

【大仙美郷環境事業組合議会議員】

伊藤福章・中村美智男

戸沢藤一・森元淑雄

【大仙美郷介護福祉組合議会議員】

伊藤福章・高橋猛

熊谷隆一

全員賛成で認定

美郷町の家計簿を締めくくりました

9月定例会は、8月30日から9月2日までの4日間の会期で開かれました。

初日、町長の行政報告のあと、一般会計・特別会計の平成十六年度決算認定と、工事請負契約や平成十七年度補正予算など、24件の議案を審議しました。

結果、平成十六年度決算は、全員賛成で認定されました。また、その他の議案も全て原案のとおり承認・可決されました。

なお、平成十七年度国民健康保険特別会計の補正予算は、賛成多数での可決となりました。



大坂善知鳥外川原線の改良工事



改良工事に伴う水道管移設工事

美郷町が発足した平成16年11月からの『平成十六年度一般会計』決算額は、歳入78億6千423万円、歳出67億448万円で、差し引き11億5千975万円の黒字決算となりました。

しかし、これに旧町村分の十六年度決算額を合算した、年間の経常収支比率は95・5%となり、改めて、自由に使うことができる財源の少なさを示す結果となりました。

平成16年度に、美郷町で行った主な事業は、

- 道路維持・新設改良事業 8億8千236万円
- 電算システム統合事業 1億7千394万円
- 中心市街地活性化事業でのポケットパーク整備など 8千424万円
- 雁の里整備事業でのクロスカントリーコース整備 5千580万円

でした。また、5つの特別会計も、それぞれに歳入・歳出同額が黒字決算となりました。詳しくは、町広報10月号の6〜7Pをご覧ください。

以下、本会議での主な質問を要約してお伝えいたします。

《十六年度決算質疑》

一般会計

企画費

乗合タクシー
今後の展望は

泉美)議員 六郷地区でおこなわれた乗合タクシー試験運行の、利用目的と利用

者数、他地区での要望と今後の展開は。

企画課長 7・12・1月に実施し、利用者は延べ382人。『あつたか山』への利用や通勤・通学に利用された。他地区での要望はないが、今後、美郷町全域でやるのか地域循環バスの運行を進めるのかなど検討したい。

総務費

出席状況はどうか

佐々木(正)議員 県南政経懇話会の加入者と出席状況は。

町長公室長 町で加入し町長が出席しているが、町長が行けない場合は、助役や職員が参加している。

衛生費

内訳を示せ

佐々木(正)議員 不法投棄整理賃金8千500円の内容は。

住民生活課長 本来は監視員報酬に対応するが、突発的にあったので一般の方を1日お願いした。

国民健康保険 特別会計

引き下げ姿勢を望む

泉美)議員 国保税は、町民に重税感がある。今回の



下水道工事

建設課長 職員一丸となり、各家々へお願いに回りたい。

農業集落排水 事業特別会計

現状はどうか

佐々木(正)議員 使用料の未収入が、現年分61万円、滞納繰越分31万円ある。現状はどうなっているか。

建設課長 再三催促しているが、収入に至らないのが現状だ。下水道会計と同じように努力したい。

下水道事業 特別会計

徴収をどうする

高橋(福)議員 受益者負担金の滞納繰越分が、863万円とかなり多い金額だ。今後どう徴収努力するか。



ポケットパーク



クロスカントリーコースが整備された山本公園

補正予算に質疑集中

9月定例会では、美郷町が発足した平成16年11月から平成16年度決算審査と、平成17年度補正予算やその他の議案が審議されました。
本会議では、補正予算と工事請負契約締結の議案に質問が集中しました。



▲国体で熱戦が期待される自転車競技

されました。
一般会計補正予算の主な内容は、
歳入
▽平成16年度の繰越金
7億9千708万円
歳出

▽財政調整基金積立金

6億132万円

▽土地開発基金への繰戻金

9千051万円

▽道路新設改良費

4千273万円

など、詳しくは町広報10月号5Pをご覧ください。
以下、本会議での主な質問を要約しお伝えします。

《十七年度補正予算質疑》

◆一般会計

◇総務費

どうする安全管理

吉野議員 県補助金650万円で、国体のロードレースコースの設計委託をおこなうが、コース延長は何キロで交差点は何カ所ある

か。また、安全管理をどう進めるか。
国体準備室長 美郷町から大仙市を含めた延長37・2キロのコースで、成年男子が4周、少年男子が3周する。
事前調査では、交差点などの危険箇所が320カ所以上想定され、この業務委託となった。内容は、コース

持ち越し理由は

吉野議員 旧千畑町土地開発基金の、土地の現物計上が監査委員に指摘され、この補正予算で繰り戻すが、普通財産として取得した土地に建物を建てた時点で繰り戻すべきではなかったか。どんな財政事情で、美郷町まで持ち越したか。
総務課長 当時、緊急的な事業や不測の経費などで出費がかさんだと判断する以外ない。しかし、財政上適正な処理とは思われない。
今回、16年度の繰越額も確定し、その中に旧町村分の繰越額も含まれており、各種施設用地分9千051万円を計上した。



▲大豆の収穫

◇農林水産業費

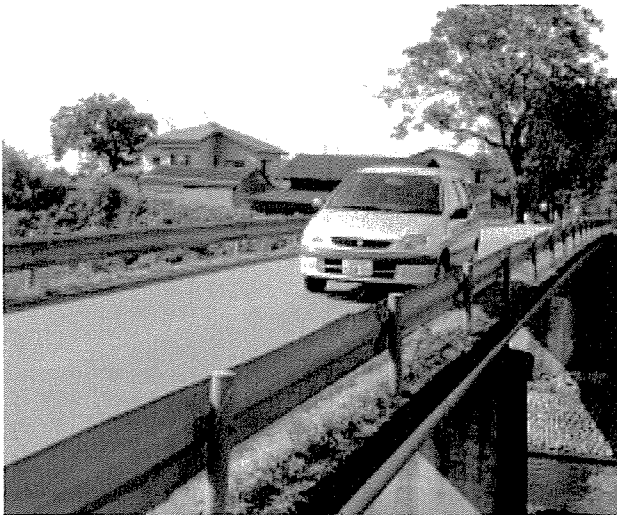
今後の方向は

熊谷(隆)議員 地域担い手育成総合支援協議会の内容は、集落営農の推進や法人化の推進を進めるものか。また、今後の担い手対策の方向をどう考えるか。
農政課長 内容は、地域の担い手を育て、集落営農組織や法人組織を育てるこ

と、また無人へり組合・大豆組合などを立ち上げ、地域農業の推進に寄与する組織を育成することが義務づけられている。
これからの農業は集団で経営する方向に向かっており、それを支援していき

◇土木費

時期を明確に



▲橋の欄干にも安全対策を

佐々木(正)議員 六郷地区の道路用地買収は、契約や支払の時期を明確にすべきだ。
建設課長 東大通り線は、契約は終わっているがまだ全額支払っていない。しかし、できるだけ早急に進めたい。

設置に工夫を

武藤(威)議員 この補正でガードレールの交換をする

が、冬場の積雪量を考慮して、高くするなど工夫すべきだ。
建設課長 ガードレールの寸法は決まっているが、できるよ

◇教育費

補助金の位置づけは

齊藤(正)議員 小学校吹奏楽の遠征費補助金は、67万円ですべてか。また、保護者から合併後の補助金が厳しいと聞いている。楽器購入については町の備品と位置づけているか。
学務課長 昼食代以外の交通費、宿泊費、参加諸費用全額を町で負担している。備品は、授業で使用するのは町で予算化し対応するものと考えている。

国民健康保険 特別会計

引き下げできないか

武藤(威)議員 国保税は高く、生活費に食い込むという声が多い。基金の一部でも引き下げに回せないか。

町長 今年度の国保税は、実質引き下げている。

また、一定の基金を持ちながら、不安定感なく運営していくのが我々の責務だ。

武藤(威)議員 基金の額は、



健診風景

いくらが理想と考えるか。
住民生活課長 保険給付費の3カ月分なければ不測の事態に対応できないと考え。県が示す最低ラインは5%で、美郷町の積立は11%。しかし、給付費の3カ月分とすれば25%ぐらいになる。

【反対討論】

泉(美)議員 日本共産党六郷支部がおこなったアンケートでは、国保税の減額要望が45%あった。今回の補正で、1億1千万円ある基金に5千300万円積み増

しするが、その財源を充てれば1世帯1万円の軽減が可能だ。

【賛成討論】

熊谷(良)議員 今回5千万円で1万円減額したとすれば、来年も、また5千万円

《工事請負契約締結での質疑》

六郷東部地区 簡易水道浄水場 建設工事入札

入札自体問題ないか

中村(利)議員 この入札では、5社を指名し3社が辞退している。この状況で、入札自体に問題ないか。

助役 この工事入札は、性能発注方式を採用した。完成後の性能を担保するため、設計図や工事費内訳書の提出を求めたが、社業繁忙の理由で3社辞退した。結果、2社の入札だが競争原理は働いているので問題ない。

吉野議員 特殊工事なので

かけなければ軽減を維持できない。今年6月に、基金から1億2千万円取り崩して現状維持した経緯から、今回積み増ししなければ来年度へ影響し、安定感ある国保運営にはならない。

性能発注方式を採用したと思うが、その内容は。

助役 この方式では、企業は町が示す水準をクリアした設計で参加する。もし性能が担保されない場合、受注側がやり直しの責任を負う。

斉藤(正)議員 指名した5社以外に、受注可能な業者はなかったか。

助役 企業を絞り込む基準に、指名参加願いの有無、指名停止の履歴、建築資格最寄り支店の場所、処理方式の実績などを設定した。また、積雪寒冷地帯での実績や稼働後のランニングコストを勘案し、クリアしたのがこの5社だ。

六郷東部地区配水池



斉藤(正)議員 3社が辞退したのはいつか。

建設課長 入札は8月24日だが、それぞれ8月9・10・12日だ。

斉藤(正)議員 入札制度に、参加希望方式を取り入れることはできないか。
助役 工事の種別によっては可能だ。しかし、今回はない。

一般質問

Q & A

5人が登壇し 町政を質す

今定例会では、5人の議員が10項目について質問しました。その内容を要約してお伝えします。



答弁に立つ松田町長

質問 読書環境の整備充実を

図書ネットワーク化を検討



村田 薫議員

質問

「子どもの読書活動推進法」「文字、活字文化振興法」が成立した。公立図書館や学校図書館の整備は、より利用者の立場に立った積極的なサービスを展開すべきと考える。

学校教育の現場では、「言語力」が十分育まれるような学校図書館の運営や読書活動の指導に当たる司書教諭を基準以下の学校でも配置できないか。

また、新町建設計画の中でも学友館図書館を中核として、千畑図書室及び仙南図書室のほか、町内の小中学校図書室の情報通信技術を活用したネットワークを進めるとあり、早期に整備して活用すべきと考える

が、読書環境整備に向けた町の考えを伺う。

答弁 町長

司書教諭の配置については、12学級以上ある六郷小学校が該当し、配置されている。基準以下の学校については、図書利用に支障が生じないよう取り組んでいる。図書ネットワーク化については、学友館を中心として公民館、学校図書室のネットワーク化を美郷町総合計画に盛り込み、今後、具体

化について検討したい。

図書を通じた町民一人ひとりの思考力、表現力の向上は、地域づくりの推進力になるものと認識しており、今年度も蔵書充実に向けた予算計上とともに、ブックスタート事業、読み聞かせの推進、学友館の施設整備予算計上など、ソフト、ハード両面の充実を図るよう努めている。こうした取り組みと考え方で、読書環境整備を進めてまいりたい。

質問 子育て世帯への経済支援を

財政状況を考慮し検討 答弁



齊藤正衛議員

質問

平成15年に
行われた子育て
支援に関する
意識調査に
おいて、「子育てで特に不
安に思うこと」として、圧
倒的に多くの保護者が、子
育てでの出費がかさむこと
をあげている。その中で子

どもの医療費の軽減を求め
る声が最も多くある。

また、合併後、スボ少の
部費が高くなったり、プー
ルの利用料が倍になった。
わずかな負担でも子育て世
帯の経済状況は大変厳し
く、行政に対し、保護者の
求めは明確だが、美郷21子
どもプランや基本計画は、
これに応えるものになって
いない。

出費がかさむ不安を少し
でも解消し、意欲をもって

答弁 町長

子育てできる環境を整える
ことで、少子化に歯止めを
かける一助になると考える
が、町長の考えを伺う。

町では保育料などへの支
援策や所得制限撤廃下での
乳児養育支援金制度などを
実施している。

さらに、乳幼児医療費に
関する県の新制度に対して
は、合併効果の検証や検討
の結果を踏まえ、できる範
囲内で支援策の充実を図り

たい。

新たな支援策について
は、財政状況を考慮の上、
年内をめどにまとめ、少子
化の抑止と次代を担う子ど
も達の健全な育成を促した
いと願っている。

質問 シンボルの施設の建設と町の日制定を

町の記念日は検討する 答弁



田口繁男議員

質問

旧町村それ
ぞれ環境改善
センターや公
民館があり、
その地域の個性をもって社
会教育などにそれぞれ活用
されているが、町民総参加
の美郷町のシンボルとなる
多目的ふれあい文化センタ

ーが必要と思われる。建築
にあたっては、町有財産と
して所有している立木を利用
した木造建築としてはど
うか。

合併においては、町民、
また当局もいろいろ苦労さ
れたと思うが、奥羽山系の
裾野の住みよい町が誕生し
たことを、われわれ議員も
自負している。

美郷町は秋田県第1号の
合併であり、その誕生を記
念して町の日を制定し、町

答弁 町長

民総参加の行事を催すべき
と思うが、町長の考えを伺
う。

これまで、町全体で行う
各種行事は、参加人員など
を踏まえ、仙南公民館、ふ
れあいセンター、六郷公民
館、千畑交流センターを選
択しながら開催している。

大人数の時は各地区にある
体育館を活用しているが、
今ある施設が利用できる
し、町の財政環境を考える

と新たな多目的文化センタ
ーの建設は考えられない。

美郷町が、千畑、六郷、
仙南、それぞれの町村の長
い歴史を引き継いで誕生し
たことを町民が再認識し、
改めてまちづくりに向けて
気持ちを高めていく機会を
もつことは大事であり、必
要と思う。

町の記念日の意義、役割、
内容などを町民の視点で思
慮、整理しながら、制定に
向けて検討していく。

質問 万全の除排雪対策を

万全の体制に留意



泉美和子 議員

質問 日本共産党 六郷支部の行ったアンケートによると、町政に望むことが、きめ細かな除排雪対策であった。住民の切実な要望として、この冬の万全の体制、対策を求める。

答弁 町長

除雪ドーザー1台の更新と小型ロータリー除雪機1台の増設など、機械体制の強化に努めるとともに、除雪開始前の打ち合わせを十分にやり、万全の体制となるよう留意する。

質問

乳幼児医療費無料化制度の維持対象年齢引き上げの要望も多数寄せられており、大仙市が小学校児童まで無料としているように、美郷町としても実施すべき

答弁 町長

子育て支援、とりわけ経済的負担軽減については、乳幼児から学生に至るまで各般の施策を展開しており、今後とも軽減策が充実するよう検討してまいりたい。なお、対象年齢の引き上げについては、昨年度の経常収支比率95・5%を考えると、現段階では要望としてうかがう。

質問

在宅で介護をしている家

答弁 町長

現在町は介護手当支給事業として、月額1万円を助成している。町単独としては決して少額ではない状況であり、増額は考えていない。

質問 災害時の協力要請を

防災計画に盛り込みたい



武藤 健 議員

質問 防災計画の中に、アマチュア無線家への災害時の協力要請をいれるべきだ。また、町内タクシー会社にも協力を願って、災害時のライン確保に万全を期すべきだ。

答弁 町長

災害時のアマチュア無線家への要請については、合併前の旧町村地域防災計画にも協力体制がうたわれている。現在策定中の防災計画にも協力体制の構築を明記し、迅速に協力要請したい。

質問

町のすべての施設を体の不自由な方にも使えるものに。平成19年には国体も開催される。全国から集まる方々が不自由なく使える施設にすべきだ。

答弁 町長

公共施設のバリアフリー化については、すべての町民の願いであり、最近建設された建物はともかく、比較的古い建物については、今後年度計画で進めていく。

質問

問題の解決にはプロジェクトチームの立ち上げを。商店街の閉じられたままのシャッター、働く場所、農村地域の嫁不足、子育て支援、人口定着には、一朝一夕には解決しえない息の長

答弁 町長

プロジェクトチームの設置については、私はじめ、職員、町民と一緒に考え、地域の実態を把握することに努めるので、専門家を入れたチームの設置は考えていないが、今後状況の変化があった場合は検討したい。

議会報のあるべき姿を実感

10月21日、議会広報委員は、秋田県市町村会館で行われた町村議会広報研修会に参加しました。

「議員主体の編集体制で、ありのままの議会を公開し、住民とともにつくる議会広報が原則です」こう語るのは、広報コンサルタントの深沢徹先生（74）。

プロフェッショナルです。深沢先生の講演は約3時間。広報・広聴の大切さと、議会報がどうあるべきかを実感しました。

山梨県身延町で、32歳から町議会議員となり、勇退するまでの24年間議会広報委員長として活躍。引退後は、全国議長会に委嘱され広報研修会の講師として全国を回る、いわば、議会広報の



議会の動き

7月 12日 議会運営委員会
議会全員協議会
14日 第5回議会臨時会
議会広報特別委員会

8月 9日 第6回議会臨時会
22日 議会運営委員会
24日 秋田県町村議会議員研修会
(於 秋田市)
29日 議会全員協議会
30日 第7回議会定例会(～9月2日)

9月 18日 町議会議員一般選挙投票日

10月 5日 第8回議会臨時会
議会全員協議会
議会運営委員会
12日 議会運営委員会
19日 第9回議会臨時会
議会広報特別委員会
21日 秋田県町村議会広報研修会
24日 議会広報特別委員会

私たち六人で広報を作り上げていきます

初議会で選任された、新議会広報委員です。2年間、読みやすく親しみやすい誌面づくりに、努力してまいります。



議会広報委員長 吉野 久
同 副委員長 杉澤 隆一
同 委員 熊谷 隆一
同 委員 鈴木 良勝
同 委員 森元 淑雄
同 委員 深沢 義一